

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

企業においてはシェアリングエコノミーとサーキュラエコノミーを基本とし、余分な紙資源、プラスチックの排除、脱化石燃料の使用を進める。また、取引先及び地域に対し、当社実践を含めた持続可能な社会づくりの情報提供と実践サポートを行う。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ○経済	<ul style="list-style-type: none"> ・資料等の紙印刷を止め、データ配信に切り替える ・書籍等の廃棄を止め、必要な人の手に渡るようオンライン等での譲渡会を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●2021年現在、年間印刷紙量2500枚を2024年に年間500枚まで削減する ●2024年までの期間中、4回のオンライン書籍譲渡会を開催する
○環境 ◎社会 ○経済	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー平等を実現するための講演活動等を優先的に行う ・会議等の飲料提供をペットボトルから各自ボトル持参を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ●ジェンダー関連の講演を2024年までに全体の70%まで引き上げる ●会議等の飲料提供において、ペットボトルから各自マイボトル持参を推進する
○環境 ○社会 ◎経済	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車を止め、自転車、公共交通機関等の利用を増やす ・高校生と共に地域資源を使った商品開発を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ●経費の内、ガソリン代支出を2024年中に0とし、経費項目から削除する ●2024年中に商品等開発のサンプルをつくり、当社SNSで公開する

<パートナーシップ>

- ① 教育機関との連携によるSDGs教育の実施
- ② 地方公共団体等との連携による、自立した地域経営のできる市民意識の醸成
- ③ SDGs関連グループとの連携による出前セミナーの開催